

札幌トレセン大会報告書

2017. 2. 6

札幌4種技術委員会

1、大会名・日程 北海道トレセンU-11 冬季交流大会 2017年2月4～5日 北村土里夢他
2、参加選手（ ）内は所属チーム 栗塚 陽都（LIV）小田 耕暉、西脇 雄太（JSN）野村 竜瑚（SSS）武田 愛希（西白石）西川 琉空、 小野 優貴（ハッット）白崎 桜雅、四方田 純希、高橋 亮麻、阪 勇輝人、福田 新太（ソサドール）三栖 正義、 大浦 友暉（アソフ）長谷川 龍也（真駒内南）大町 岳（ソサドール） <p style="text-align: right;">計16名</p>
3、引率者名 嶋田 雄二（SSS）、吉沢 一樹（アソフ）
4、大会結果 2月4日（土） 道北 ○14-0（得点；阪2・大浦2・西脇1・栗塚3・小野1・武田4・西川1） 小樽 ○2-1（得点；福田・武田） 室蘭 △1-1（得点；白崎） とがち △1-1（得点；野村） 結果：予選2位突破 2月5日（日） 小樽 ●1-2（得点；大浦） 北海道女子 U12 ●0-1 苫小牧 ●0-1 網走 ○1-1（得点；野村） 結果：2位リーグ4位
5、成果と課題 成果 ・ボールを大事にしながらか攻撃を組み立てようとしており、幅と厚みといった基本的なポジションを有効にとることが出来ていた。また、守備面では前線からボールを奪い切るという守備を意識高く行え、セカンドの選手も連動してボールを奪いに行けた。 課題 ・相手がいる中での技術の発揮が不十分。相手の変化を感じとり、どういうプレーが最適かを選択することがより必要。そのためには観る・観ておくの量と質の確保、また、動きながらプレーすることの習慣化が重要になってくると感じる。